

学校経営計画書

吉備中央町立円城小学校長 原田 寛治

○本校のミッション（使命，存在意義）

- 地域とともにある学校づくり
- 社会に開かれた教育課程の実現
- 「やさしさ（徳）・かしこさ（知）・つよさ（体）」のバランスのとれた児童の育成
- インクルーシブ教育の推進

○内外の環境分析

- <校内について>
- ・児童数54名、8学級の小規模校である
 - ・保護者は、学校の取組をおおむね肯定的に捉え、協力的である
 - ・自己の課題への気づきが芽生え、自己肯定感が高まりつつある
 - ・教職員は、児童のよりよい成長を願い、学校教育目標達成に対する使命感や情熱をもって職務遂行にあたっている
- <地域について>
- ・豊かな自然環境に恵まれ、社会教育資源が豊富にある
 - ・地域は学校に対して協力的で、学校教育を支えて下さる人材も多い
 - ・道の駅・福祉施設・公民館・青パトなどを中心に学校への支援やボランティア活動に大変協力的である。令和5年11月7日ボランティアデー約30名参加

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン

- <学校教育目標> ○みんなでめざそう やさしく・かしこく・つよく
—豊かな心をもち、たくましく生きる児童の育成—
- <めざす学校像> ○児童・保護者・地域・保こ幼中とのつながりを大切にした、信頼される学校
- <めざす児童像> ○明るく 楽しく 美しい学校
○やさしく 「相手を思いやる子」
○かしこく 「自分から進んで学ぶ子」
○つよく 「進んで健康な生活や運動に取り組む子」
- <めざす教職員像> ○対象から学び、子ども・保護者とともに育つ教職員
○連携・協働し、組織的に職務を遂行する教職員
○3つの信頼（児童、保護者・地域、職場）を大切にする教職員

○円城小学校教育の土台として、全教職員が常に取り組む実践内容

- 多角的児童・保護者理解を基にした児童（家庭教育）支援の実践
- インクルーシブ教育の理念に基づく学校（人的・物的）環境づくり

○指導の重点

- ◎指導の重点1～3は、3部会・各学年学級の取組として、PDCAサイクルにより実践する
- <指導の重点1> 「違い」を認め合う豊かな人間関係をつくる
- <指導の重点2> 確かな学びをつくる
- <指導の重点3> 健やかでたくましい心と体をつくる

○円城小学校の「働き方改革」3つの視点

- ①時間意識を明確にもつ日常業務自己管理と会議・研修等の効率的・精選的運営の徹底
- ②「ワーク・ライフ・バランス」が実現できる「声かけ」と「支え合い」の徹底
- ③「定時退庁日（月1日）」「最終退庁時刻（19：30）」の徹底